

沖縄小児保健賞**沖縄小児保健賞を受賞いたしましたして**

名護市屋我地診療所
小野寺 隆

この度は大変栄誉ある沖縄小児保健賞をいただき、驚きとともに皆様への感謝の思いでいっぱいです。

また今後も、賞の名に恥じないよう今後も沖縄の保健活動に精進しなくてはと身の引き締まる思いです。

私が医者になって3年目、当時大阪の医療機関に勤めておりましたが、小児科専門医だけではなく、小児神経専門医への道も選択しました。

その中で、通常の外来診療以外に乳幼児健診、発達相談（健診で要フォローとなった乳幼児対象）の担当医、児童相談所の嘱託医なども兼務していくこととなり、保健師、臨床心理士、作業療法士などの医療スタッフだけではなく、学校、保育園、幼稚園などのスタッフともかかわりも深まってきました。

その結果、神経疾患以外に自閉症など発達に特性を持つ小児の方々とかかわりも必然的に増えていきました。ただ、私のキャパシティも限られており、大阪でもその専門医療機関、施設に紹介するにも半年から1年待ち、というような状況で困ったことが多々ありました。

13年前に沖縄に移住したのですが、当初は通常診療のみに携わっておりました。その後徐々に乳幼児健診、学校医、保育園の嘱託医などの任務をいただき、9年前に名護市屋我地診療所の所長に就任した際に、幸い、治療教育外来スタッフ臨床心理士の協力をいただくことができ、少人数のスタッフでできることは限られておりますが再び自閉症、発達特性を持つの方々にもかかわる体制を持つことができました。

沖縄に移住する前は小児科医としての活動のみでしたが、現在は内科医としての役割もあり、高血圧、糖尿病、認知症などの患者様の診療にもかかわっております。その分、小児のみの診療にかかわる時間は少なくなっておりますが、幅広い年齢の患者様とかかわることが、私自身医師としての成長の助けになっており、小児の診療においてもさらなるレベルアップに役立っているのではないかと感じております。

医師として37年目を迎えますが、沖縄の医療、保健活動に携わってからまだ13年です。私より沖縄の医療にずっと長く携わっておられる先生方が多数いらっしゃる中で私のようなものが、沖縄小児保健賞をいただいてよいのだろうかという思いもありましたが、ご推薦していただきました先生方をはじめ、沖縄の皆様からの激励、ご支援をいただけたということ、大変うれしく思っております。

また、私の周りにいらっしゃる地域の方々、診療所のスタッフの協力なしではこの賞はいただけなかったと思っております。大変感謝しております。

これからもどうかよろしくご指導のほどよろしくお願い申し上げます。